

令和4年度 第3回合志市立図書館協議会		
開催日時	2023年2月21日(火)午後2時～	
開催場所	西合志図書館 集会室	
	出席委員	緒方幸代 境敬一郎 有内弘 中島広隆 米本千紗子 正泉寺秀人 出口美子 筑紫紀子 上村リエ子
	欠席委員	柴崎茜
	職務出席者 及び説明者	生涯学習課 課長 牧野淳一 課長補佐 山隈和徳 主査 中田玖美  合志市立図書館 館長 高本孝一 統括責任者 鶴岡亜希子 副統括責任者 岩下早希 副統括責任者 末永静  こうし未来研究所 社長 濱田善也 本部長 柏尾智之
開催形態	公開	傍聴者 なし
議題	次第 1.開会 2.館長挨拶 3.議題 (1)管理運営・利用状況 (2)主催事業報告 4.その他 ○次年度自主事業計画 ○ヴィーブル図書館活用について 5.閉会	

議事の概要及び議題または案件に対する意見等の記録

高本館長	<p>1. 開会</p> <p>2. 館長挨拶</p> <p>3. 議題:</p>
高本館長	<p>(1)管理運営・利用状況</p> <p>管理運営・利用状況について資料に沿って説明</p> <p>・昨年度と比較し、来館者数・貸出数等増加傾向にあることを報告。</p> <p>(2)主催事業報告</p> <p>10月～1月の主催事業について資料に沿って説明</p> <p>・今年度初の試みとして、2月4日(土)に「図書館ファンミーティング」を実施したことを報告。普段入ることのできないバックヤードツアーや意見交換を行い好評を得た。</p>
有内委員	<p>イベントに子どもが参加する場合、保護者同伴なのか子どもだけで参加することができるのか教えてください。</p>
高本館長	<p>校区内の児童は自分で来ることができますが、校区外の児童は保護者の送迎が必要となります。楓の森小と中央小が校区内です。</p>
牧野課長	<p>1月21日の高校生親望会は図書館の企画なのですか。</p>
高本館長	<p>熊本市の高校の地学部から要望があり、一般向けの定期親望会のない第3土曜日に特別に実施しました。</p>
牧野課長	<p>1月21日実施の「大好き！時代小説」とはどのような内容のイベントですか。</p>
高本館長	<p>おすすめの時代小説を職員や参加者が紹介し合うイベントです。</p>
緒方会長	<p>利用状況の数字について、前回のデータと異なるようですが。</p>
高本館長	<p>来館者数とは図書館に入った方をセンサーで計測しているもので、前回の資料の利用者数とは貸出を行った方の人数です。</p>
緒方会長	<p>図書館事業計画に入っているのは全て図書館が企画から行っているのですか。</p>
高本館長	<p>そうです。</p>
高本館長	<p>前回の協議会でお話していた、貸出をせずになくなっている不明本について1月17日に該当者が判明し、本人と面談を行いました。今後このようなことがないようにお願い</p>

高本館長	<p>し、その後は同じようなことは起こっていません。職員の館内の見回りが大切だと感じて います。</p> <p>4. その他</p> <p>○次年度自主事業計画</p> <p>次年度の自主事業計画について資料に沿って説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな変更点として、これまで春と秋に大きなまつりを行っていたが、来年度より春のまつりを廃止して、秋により充実した内容で行うことを報告。</li> <li>・新しい事業として、合志市の朗読の会とタイアップして4月15日に「朗読フェスティバル」を実施予定であることを報告。(菊池郡市の連携事業)</li> </ul>
出口委員	<p>事業計画に「新成人への本の紹介」とあるが、成人年齢が変更になったので20歳ではないですか。</p>
高本館長	<p>訂正します。</p>
緒方会長	<p>図書館としてこのイベントにはもう少し来てほしいというのがありますか。</p>
高本館長	<p>コロナで人数制限をしており、お断りすることも多い状況です。図書館としては人数を増やすというより、中身を充実させていきたいと考えています。</p> <p>○ヴィーブル図書館活用について</p>
高本館長	<p>ヴィーブル図書館は2階にあることもあり、目に触れにくく、利用が進まない。貸出数も規模の小さい泉ヶ丘館と変わらないくらいの状況です。委員の皆様にもヴィーブル館の活用法についてご意見を伺えたらと思います。マンガミュージアムからはマンガミュージアムの分館にしてはとの意見もでています。</p>
緒方会長	<p>利用状況など現状がよくわからないのですが。</p>
高本館長	<p>全貸出数の3分の2が西合志館、残りの3分の1の半分ずつが泉ヶ丘館とヴィーブル館という状況です。子どもの利用が少ないです。お年寄りもなかなか難しい。車を運転する方や市役所の方が利用されています。</p>
鶴岡統括責任者	<p>地震後利用がかなり減っていましたが、最近は親子連れの利用者が増えてきています。平日は常連の方が多いです。絵本が充実しており、一度来てもらおうと喜んで借りていかれます。</p>

高本館長	図書館としてPRが足りないのかもしれない。
筑紫委員	<p>どうしてこうなったのかとても残念です。私が勤めていた頃は利用者数が人口比県内トップ近くで、利用が増え続けていました。ヴィーブル全体の生涯学習の中核としての図書館で、子育て支援日本一の町を目指して取り組んでいました。特徴として全国のお城の資料や児童書が揃っているのを売りにしていました。近隣の図書館もまだなかったのでそこからの利用も多かったです。複合施設の良いところを活かそうと、ボランティアや体育館などに来られる方々と連絡を密にして図書館へ誘導するようにしていました。地域の住民と一体となった図書館運営を参考にしたいと視察もたくさん来ていました。様々な人に参画してもらって、図書館を押し上げてもらっていた。生涯学習施設として土地の力を結びつける力があればもっと高められるのではと思います。コロナの状況もあり難しい状況ですが、合志市立図書館が地域の人が集い合う図書館になればと思っています。</p> <p>参考にしてほしい図書館があります。ヴィーブルのような複合施設で、4階建てですべての階に関連するような図書館の本が置いてある。特に合志市にもあればと思うのが屋内で遊んで学べるスペース「子どもの広場」です。本の魅力を感じてもらう仕掛けが必要だと思います。ヴィーブルも図書館を中心にした体験学習の場になってほしいという思いがずっとありました。ヴィーブルが遊べて学べる場所になれば、そしてその中心に図書館があればと思います。</p>
緒方会長	<p>ヴィーブルの中にあるからこそできることがあるのかもしれないと思います。まず知ってもらうことが大事だと思います。市に住んでいても意識していない人が多い。特徴を持たせるというのはまずできることかなと思います。ヴィーブルに来る人にアンケートをとって、意見を聞いてみるのもいいかもしれません。</p>
筑紫委員	<p>以前、ヴィーブルの管理人さんに館内のどこにでも図書館のイベントのお知らせなどメッセージがあることをほめられたことがありました。</p>
濱田社長	<p>以前は1階に大広間や温泉があって市民のつどいの場になっていて、生涯学習の館だったが、それが変わってきている。昔は住民参加もさかんで団体も多かった。コロナの状況もあり、住民が集まる環境がなくなっている。それを取り戻すのが大変だと思います。</p>
出口委員	<p>お知らせをしないと、ということでしたが、市のホームページで登録しているとスマホで新着情報の通知が来るようになっています。図書館も市の通知でお知らせが来るようにできれば効果があるのではないかと思います。</p>
牧野課長	<p>市のホームページに図書館のバナーがあるのでそちらを見てもらうようになっています。</p>

	<p>す。ただ、それだとスマホアプリと連動しません。市に図書館から記事を送ってもらって市のホームページに掲載するとアプリと連動して通知がいくようにできます。そうすることで露出を増やしていくのもいいのではないのでしょうか。また、Veevaでしかできない企画もあればいいのかなとも思います。</p>
鶴岡統括責任者	<p>今度「フルーツとピアノで贈るおはなし会」がVeevaであります。それはもう満員で、キャンセル待ちの状態になっています。人気のあるイベントはすぐ定員が埋まっています。</p>
牧野課長	<p>定員いっぱいになったとしても、露出することで図書館でこういうイベントがあるということを知っていくといいと思います。</p>
高本館長	<p>合志市の人口一人当たりの貸出数は県内トップです。それはこれまでの職員の皆様の努力によるものなので、低下させることなくより発展できるように頑張っていかなければと思っています。また、電子図書館について、熊本県下で1つの電子図書館をつくろうという話が進んでいます。早ければ令和6年度から開始予定です。負担金は生涯学習課と相談しながら進めたいと思います。単独するよりもかなり負担は減ります。課題は、1つの本を全県民でとるので人気がある本については何年待ちとなることもあるのかもしれないということです。</p>
緒方会長	<p>毎回電子図書については話題が出ているが、先に進んでいる感じがします。</p>
牧野課長	<p>TSMCの進出に伴うサービスについて、図書館でも現在、半導体の本の展示や英語・中国語の絵本の収集、新聞の記事の切り抜きの掲示などされていますが、他に何か考えていることはありますか。</p>
高本館長	<p>多文化サービスとして、館内の案内表示を英語、中国語、台湾語などでしていく必要があると思っています。利用案内も英語版はあるが台湾語も作る必要があると思います。資料も増やしていく予定です。実際に来てもらって、ご意見を頂き、改善していきたいと思っています。</p>
牧野課長	<p>ホームページも外国語に対応するようになればと思います。</p>
緒方会長	<p>互いの文化を知り合うようなイベントがあればと思います。図書館が文化を伝え合う交流の場になればいいですね。</p>
高本館長	<p>閉会の挨拶</p>